

家主交流録



マレーシア不動産 トークセッション

アジア太平洋大家の会



鈴木学オーナー(45)
(東京都江東区)

アジア太平洋大家の会九州支部では、福岡市で12月7日、マレーシア不動産セミナーを実施した。主催は海外不動産を扱うフォーランドホールディングス(東京都千代田区)。30人が参加し好評だったという。



好評だったトークセッション

第1部では、同会の会長鈴木学氏が基調講演を行った。20年前からマレーシアの首都クアラルンプールを訪れていたという鈴木氏は、同地の時代ごとの移り変わりを振り返った。また最近、訪れたクアラルンプールの様子も解説した。

務める小場三代オーナー、アジア太平洋大家の会九州支部長の中西紀二オーナーによるトークセッションを行った。小場オーナーは、今年、中西オーナーは昨年10月に、クアラルンプールでコンドミニアムを購入。マレーシアに投資した理由や、購入した物件概要を説明した。



菅原貴博オーナー(42)
(宮城県仙台市)

大家さん予備軍の会

収益シミュレーション 利回り以外の指標を知る

仙台大家の会現地世話人を務める菅原貴博オーナーは、これから大家を目指す人向けに「大家さん予備軍の会」を主宰している。12月8日には、「収益シミュレーション」勉強会を行った。今回は3回目の開催で、13人が参加した。そのうち、5人は仙台大家の会のメンバーが集まったという。

菅原オーナーは、「参加者からは、物件を検討するとき利回りだけでなく、将来的にいつのくらいのコストがかかるか、キャッシュフローを把握することで、利回りだけでは足りない物件比較の指標ができてよかった、という声がありました」と話した。

これからは、表を務めるオーナーは、有意義にせよう。 **自宅リノベーション 異業種交流** **これから**



第2部は、フォーランドホールディングスの中西オーナーは、「実際に投資した立場からの本音が聞けるところが良かった」と好評でした。第3部では、鈴木会長と、九州大家の会代表者と振り返った。

鈴木オーナーは、2人のマレーシア投資に講評を行ったという。小場オーナーの「いずれ自分が住んでもいいという考えで購入した」というエピソードに対し、鈴木オーナーは、「究極の出口戦略」と評した。

菅原オーナーが、実際に使用している収益シミュレーション用のエクセル

勉強会後は、懇親会を行った。実際に物件を所有するオーナーに直接質問ができることあって、これから大家を目指す

不動産オーナー、物件情報の穴いたり、金品をすす参加者談をするなどたぞうだ。 **今回が初パーティー**

とっとり大家の会



小谷務オーナー(70)
(鳥取県鳥取市)

とっとり大家の会は、12月7日、今年最後の定例会と忘年会兼情報交換会を開催した。新人1人を含む8人が参加。「100戸超所有、鳥根のカリスマ大家F氏来鳥講演」と題し、鳥根県松江市

鳥根のカリスマ大家悪戦苦闘の道のり語る

1は珍しいです。福本オーナーは、約50戸の物件を相続した後、ここ3年間で倍増させています」と紹介。今回のセミナーでは今年7月購入した1棟マンション

ず、前の所有者Aが契約書なしで知人を格安で住まわせたこと、売買契約終了後にわかった。Aからは2年前から売却希望の打診があり、固定資産税

額を当初は補てんし、当初空室は1戸だったが、改めて再契約する過程で3世帯が退去したため、現在の入居は13戸になってしまったという。

大家検定の勉強内容を有効性を検討した。これから大家を目指す新人らから「困難な事例を聞いて身が引き締まりました」といった声も聞かれたという。



盛り上がった